



進路だより No.3

令和5年6月
県立尼崎西高等学校
学習支援部

6月に入り、文化祭が行われました。映像作品や舞台発表など、どれも完成度が高く、非常に楽しい行事となりました。また、文化部の人たちも素晴らしい発表でした。お疲れさまでした。さて、期末考査が近づいてきました。暑い日が続きますが、体調に気を付けてテスト勉強、受験勉強を頑張りましょう！！



尼西応援キャラクター
あまエッコ君

<<専門学校への進学を考えている人>>

6月に入り、総合型選抜(AO入試)のエントリーが始まりました。志望校が決定している生徒は、各校のホームページで「募集要項」をダウンロード(または資料請求)し、「受験資格」や「出願時期」、「選考内容」を確認しましょう。入学金の納入期限などが記載してある「入学手続きの締切」も確認しておく心安心です。また「専願」の入試を同時に複数受験することはできないため、専願か併願かの確認も必ず行いましょう。出願書類の中には、生徒本人が作成するものと、高校が作成するもの(推薦書や調査書など)があります。高校が作成する書類については、必ず1週間から2週間の余裕をもって、担任の先生に依頼しましょう。当たり前のことですが、募集要項を読んで分からないところがあれば、必ず担任の先生に相談するようにしてください。

志望校と受験方式が決まれば、入試対策に打ち込みましょう。「面接練習」はもちろん大切ですが、「志望理由書」や「小論文」といった作文の対策も非常に重要です。担任の先生に何度も提出し、添削してもらいましょう。(参考:志望理由書の書き方 <https://www.sanpou-s.net/support/choice/>)

また、学校によっては「受験レポート」が見られるかもしれません。これは過去の受験生が、面接で聞かれた内容や、作文のテーマなどを記録したものです。受験レポートを見たい生徒は、担任の先生か、学習支援部の先生に声をかけてください。

<<大学・短大への進学を考えている人>>

志望校が決定している生徒は、大学のホームページにアクセスし、大学案内や募集要項、入試問題集といった資料を請求してみましょう。複数校の資料を請求したい場合は、次のサイトが便利です。(参考:テレメール <https://telemail.jp/shingaku/contents/index.php>)

また、複数の大学の入試科目や偏差値などを比較したい場合や、昨年度の過去問を見たい場合には、次のサイトが便利です。(参考:旺文社パスナビ: <https://passnavi.obunsha.co.jp/>)

また、図書室では赤本の貸し出しを行っています。今年度はPTAにお願いし、関西学院大学や近畿大学などの赤本を購入していただきました。志望校が決定すれば自分で購入すべきだと思いますが、まずは手に取って、1年分解いてみてください。解き終われば自己採点を行い、合格最低点との差を確認しましょう。その差を埋めていく作業が受験勉強です。

まずは、平日1日4時間、休日は1日10時間の学習を目指して頑張りましょう！！

<<志望校が決まっていない人>>

早急に志望校を決定しましょう。その際、できるだけオープンキャンパスに参加してください。複数の大学が合同で行う合同説明会に参加してみるのも良いかもしれません。オープンキャンパスや合同説明会の案内は進路指導室前や2階のコモンスペースに掲示しています。夏休み等を利用して、積極的に参加してください。

<<指定校推薦を考えている人>>

昨年度に指定校推薦をいただいた大学・短大・専門学校の一覧を進路指導室に保管しています。指定校推薦を考えている人は担任の先生か、学習支援部の先生に申し出て、見せてもらいましょう。少し気がかりなことは、「勉強をしたくないから指定校推薦を利用したい」、「指定校推薦が来ている学校から志望校を選びたい」といった理由で指定校推薦を考えている人がいることです。ここでは、指定校推薦について少し説明します。

【推薦基準】(例)

- ① 2024年3月卒業見込みで、本学への入学を特に希望する本校専願の者
- ② 出身学校長の推薦を受けた者で、明確な目的意識を持ち、入学後も主体的に勉学や課外活動等に取り組む意思がある者
- ③ 評定平均値が3.5以上の者
- ④ 1年生から出願時までの欠席日数が10日以内の者

上記は、ある大学の指定校推薦の推薦基準です。これを見てわかるように、指定校推薦とは、その学校を第一志望とし、進学後も熱心に勉強に励む強い意志を持ち、評定平均値や欠席日数の条件を満たし、学校長の推薦を受けた生徒が利用する入試制度です。「学科試験が嫌だから」、「受験勉強が嫌だから」という理由で利用することはできません。指定校推薦を利用する場合は、高校卒業まで勉学に励み、進学後も模範的な生活を送ることが求められることを覚えておきましょう。

なお、指定校推薦を利用する場合も、必ず一般入試を見据えた受験勉強に取り組みましょう。指定校推薦の一覧の掲示や校内選考は9月に行われます。自分の希望の進学先が今年はないかもしれないし、自分よりふさわしい人物がいて、校内選考で落選となるかもしれません。指定校推薦は不確実な入試であると認識し、一般入試対策に取り組んでください。

<<就職を考えている人>>



先日、株式会社ENEOSウイング様に来ていただき、2、3年生の就職希望者を対象に、「求人票の見方」について講話をいただきました。今後の予定としては、自己分析や求人票の閲覧を通し、自分の興味のある会社をピックアップしたら、いよいよ職場見学を行います。人生の中で大事な選択の一つです。時間を惜しむことなく、しっかりと取り組みましょう。朝の挨拶運動やテスト勉強、自己分析に企業調べと忙しい日々が続くと思いますが、体調に気を付けて頑張ってください。